

深良用水をとりまく、400年間の歴史の旅。

# 裾野市史 第6巻

# 楽しい郷土史だより 第6号

平成29年9月 裾野市教育委員会生涯学習課

裾野市史の編さん事業は、昭和62年から始まりました。平成3年、「資料編 深良用水」から発行が始まり、最終巻である「通史編Ⅱ」が発行されたのが平成13年のことです。このように、長い年月と多くの方々のご協力により編さんされた裾野市史は、私たちに、裾野市の成り立ちや昔の人々の生活を教えてくださいます。

最終巻の発行から16年たった今、改めて裾野市史を例にとり、私たちの郷土史を紹介します。

## 世界「かんがい施設遺産」登録。みんなの宝、深良用水

### 市史第6巻 資料編 深良用水

深良用水は、箱根芦ノ湖から隧道を通じて水を引き、その恵みは裾野市をはじめ御殿場市の一部、長泉町、清水町にまで及びます。

深良用水の概要は、学校で教わった方も多いと思います。また、裾野市民文化センター2階の特別展示室や深良地区郷土資料館での展示、4月に行われる深良用水まつりなど、深良地区を中心に、用水をPRする取り組みが色々なかたちで行われています。

さらに詳細に、さらに幅広く、知識を求める方にはこの1冊。掲載資料数407！



↑ 隧道工事に使用されたといわれる行燈

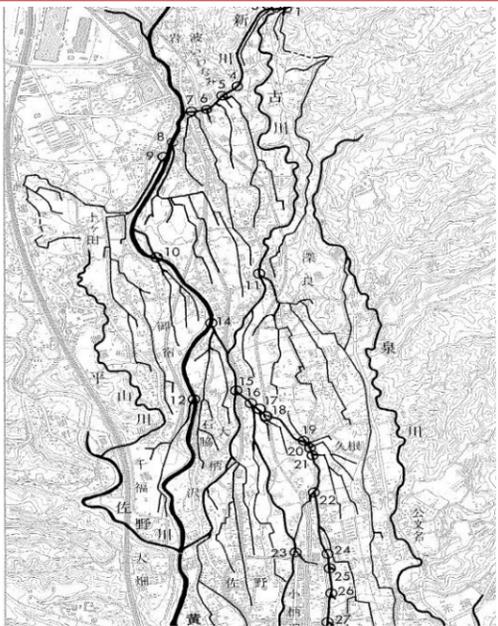


↑ 隧道工事に使用されたといわれる鑿

一般的に幕府の普請工事（土木工事）では、まず「目論見帳」と呼ばれる工事計画書が作成され、工事が完成すると「出来方帳」とよばれる報告書が提出されますが、深良用水の場合は、元締が工事費を負担することになっていたこともあってか、かかる帳面は作成されなかったようです。

このため、具体的にどのような器材を使い、どのような方法で隧道工事を行ったのかが全く不明となっています。

当時の状況を知るには、現存する数少ない道具などから推測するしかないようです。残念ですが、昔の技術に思いをはせるのも楽しいですね。



上郷用水堰

- 1 豊後堰 (古川口)
- 2 古川堰 右衛門堰
- 3 利平堰 水門
- 4 五反田堰 水門
- 5 弥平堰 堰
- 6 橋場堰 ト
- 7 大カ堰 堰
- 8 古カ堰 (御宿)
- 9 切久堰 堰
- 10 千福堰 堰
- 11 富沢堰 堰

水路網を一覧できる、深良用水水系図

中郷用水堰

- 14 佐野堰
- 15 大柄堰
- 16 宿野堰
- 17 上野田堰
- 18 下野田堰
- 19 横大堰
- 20 九尺堰 (東口・西)
- 21 舞若堰
- 22 中曾堰
- 23 狭荷堰
- 24 中丸堰
- 25 八幡堰
- 26 小柄堰
- 27 赤石堰

堰めぐりウォーキングはいかがですか？

- 第1章 用水の開削
- 第2章 用水争論と井組の変遷
- 第3章 用水維持と普請
- 第4章 用水と村々の生活
- 第5章 近代の用水
- 第6章 図像にみる用水

お問い合わせ  
生涯学習センター（市生涯学習課）  
住所：深良435番地  
電話：055-992-3800



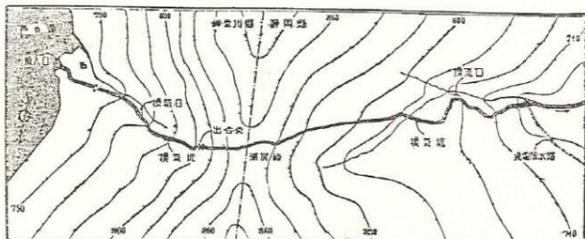
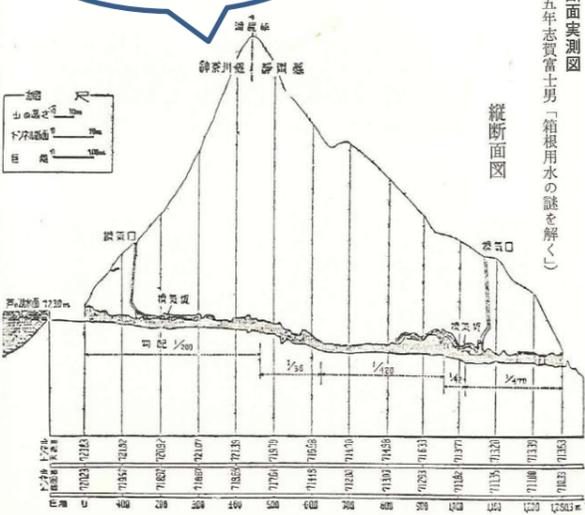
芦ノ湖からの取水口 深良水門

切実な水利争い

三〇四 明治三十九年五月二日～七月一日 逆川事件に関する新聞報道

静岡神奈川両県人民の大水論  
箱根芦ノ湖にハ其の北方に二条の水路あり、一ハ静岡駿東郡に通じて同郡深良村外廿七ヶ村の用水源となり、一ハ逆川とて神奈川県仙石原村を通じて早川に流れ込めるなるが、今ハ昔寛文六年の頃深良村外廿七ヶ村の人民ハ官に請て湖水を引用し田地五百余町を開墾せし以来歳々年々用水の貯蔵に苦心し湖水の減少に備る為め逆川口を堰止め箱根権現領より深良村山中まで堀抜を作りたる等数万円の巨費を費し、降て明治二十年に至り該地の御料地となるも旧慣の如く北門其他の工事ハ総て深良村外二十七ヶ村にて経営し来たしが、一兩年來仙石原村の牧場に於てハ牛馬の飲料及び新田開拓等水利の必要を感じ従来の如く逆川の口より溢るゝ水にてハ満足せず時々石堰を切て水を引しも毎時穩かに局を結び仙石原其他数

ふむふむ  
こうなっているのね



# 日本・裾野の歴史年表 ～近世・近現代編～

## —近世—

年	出来事
江戸時代	
1603	● 江戸幕府が成立。
1614	● 大坂の陣。裾野市出身の御宿政友（通称：御宿勘兵衛）が豊臣方を補佐する。
～1615	冬の陣にて功名をあげるが、夏の陣にて討死。
1666	● 深良用水の掘削工事。深良村の名主大庭源之丞によって構想され、江戸町人の友野与右衛門らによって行われた。
～1670	
1703	<input type="checkbox"/> 元禄大地震 →東海から関東を襲ったこの地震は、マグニチュード 8.2 と推定される大地震であった。茶畑村の名主柏木甚右衛門が書き残した「覚書帳」には『小田原城は「すきと」（すっきり）潰れてしまい、その上火事で焼失した。』『御厨地方は、茶葉沢村より北の竹之下村までは家が全壊であるが、こちら側の神山村から下は潰れた家はない』とあるが、深良用水の隧道部分や新川土手には被害が出たようである。
1707	<input type="checkbox"/> 富士山噴火。宝永火口ができる。 →噴火の被害状況については多くの研究があるが、その成果によれば、噴火に伴う降灰は、当時の風向き（西風）によって富士山の東側へ運ばれたという。この降灰は小山町、御殿場市域ではとくに甚だしかった。須山村でも被害が出るとともに、須山口登山道も壊滅的な打撃を受けてしまう。
	
	↑ 宝永4年富士山噴火絵図（夜）
1853	ペリーが黒船で浦賀に来航。
1867	大政奉還および王政復古の号令。江戸幕府が滅ぶ。

## —近代—

年	出来事
明治	
1868	● 戊辰戦争。新政府軍と旧幕府側との間におこった内戦で、1年半にわたる戦争により、新政府が正統政府としての地位を固めることとなった。
～1869	
1871	● 廃藩置県。7月は1使（開拓使）3府（東京・大阪・京都）302県であったが、11月には1使3府72県となる。現在の静岡県は7月の時点で菰山県、静岡県、堀江県と3つの県に分かれていた。
1875	● 佐野原神社が創建される。
1877	<input type="checkbox"/> 西南戦争により出征した大石鉄蔵（定輪寺村）が戦死。 →裾野市域における、近代戦争の最初の犠牲者となった。佐野原神社に顕彰碑が現存している。
	
	↑ 現在の佐野原神社
1889	● 東海道線佐野駅（現在の裾野駅）が開設。

	1890	<input type="checkbox"/> 五龍館ホテルが開業 →湯山柳雄によって作られたホテル。現在の中央公園内にあり、観光名所として有名だった。のちに大正・昭和両天皇も皇太子時代にご訪問されている。その様子を写した絵葉書が残っている。
		
		↑ 当時の絵葉書。中央が後の昭和天皇
大正	1914	● 第一次世界大戦勃発。
	1915	● 佐野駅を裾野駅と改称。
	1923	● 関東大震災が発生。
昭和	1939	● 第二次世界大戦勃発。茶畑山に海軍機が墜落する。
	1944	● 岩波駅が開設。
	1945	● 第二次世界大戦終戦。

## —現代—

年	出来事	
昭和	1952	● 泉村（現・東地区）と小泉村（現・西地区）が合併し、裾野町が誕生。
	1956	● 裾野町と深良村が合併。
	1957	● 裾野町と富岡村、須山村が合併。
	1971	● 市制施行し、裾野市となる。
平成	2011	● 市制40周年。

### なぜ佐野駅から裾野駅に変わったの??

『楽しい郷土史だより第4号』でお伝えした通り、裾野町よりも駅の方が早く「裾野」という名前になっています。では、なぜ佐野駅から裾野駅に改称したのでしょうか？それは、大阪府と栃木県にも同じ「佐野駅」があり、紛らわしかったから、と言われていました。また「裾野駅」という名称は、当時の駅長によって提案されたという説もあります\*。（※参考：『駿東郡中部四ヶ村 郷土読本』）

### 裾野市章の意味って??

昭和32年（1957）9月18日に定められたもので、スソノの「ス」を星型に5つ組み合わせ、外側の結合部は日本の象徴でもある富士の麗峰を模っています。スを5つ組み合わせたのは、富士の裾野の旧5か村が固く団結することを表わし、中央の円は、平和に栄えることを表わしたものです。裾野市の成り立ちを表しているですね。



↑ 裾野市章

今回は『楽しい郷土史だより第2号』に続き、歴史上の出来事を近世から現代まで紹介しました。まだまだ紹介できなかった事柄も多いので、この機会に裾野市史を手にとって調べてみてはいかがでしょうか？通史を勉強するには、第8巻と第9巻がオススメです！

次号の『楽しい郷土史だより』は、市史第7巻のテーマである民俗を特集する予定です。お楽しみに！

編集・発行 裾野市生涯学習課 文化スポーツ室 / 深良435番地 / TEL055-992-3800

当パンフレット『楽しい郷土史』は、市役所、生涯学習センター、鈴木図書館、市民文化センター、ヘルシーパーク裾野に配架しています。また、市ホームページでも公開しています。